

令和2年9月1日（火）

児童生徒の保護者の皆さま

北京日本人学校長

校長 栗本 和明

令和2年9月1日からのオンライン授業について（お知らせ）

平素から本校の教育活動にご理解、ご協力をいただきありがとうございます。

6月中旬に、全学年が再度登校停止となって以来、2か月半ぶりに昨日（8月31日）に小学部1年生が登校を開始し、本日（9月1日）より小学部5年生以上が、また9月7日には全学年が登校再開となります。児童生徒が学校に登校できない期間、オンライン授業を実施してまいりましたが、全学年の登校再開に伴い、対面の授業に移行することとなります。

しかし、今後日本から北京に移動してくる児童生徒について14日間の集中隔離期間の学習支援が必要なこと、現在日本に滞在している児童生徒の中にも、日本の学校に通わず本校のオンライン授業を受けている人がいること等を考慮して、9月1日以降も「教室で行う対面授業のオンライン配信」の形でオンライン授業を提供いたしますのでお知らせします。

詳細は下記の通りです。対面授業の実施に伴いこれまでのオンライン授業と同様の対応ができない点が多々ありますが、ご了解いただきますようお願いいたします。

記

授業について

- ・北京日本人学校の各学年の授業をそのままオンライン（DingTalk, Zoom, WeChat 等）で配信します。オンライン授業用の教材（スライド、ワークシート等）や授業形態ではなくなります。
- ・授業に関する質問や授業中のインターネットの接続トラブル等については、その場で対応することが難しいため、授業後や放課後等に可能な範囲で対応します。WeChat 等を利用して担任又は教科担当者まで連絡、相談をしてください。
- ・技能を伴う教科等は、配信する学習内容が家庭で取り組めない場合等が考えられます。そのような場合は、オンラインでの配信をせず、課題を指示するなどの対応となります。

授業で使用する資料の配付について

- ・配信のタイミングについては各学年、教科ごとの対応とします。当該授業の当日の配付とする場合にはオンライン授業用の WeChat アカウント宛に配信するなど確実に届く手段を工夫します。（例）授業中の補助シート送付、授業後の板書や記入済みの学習シートの送付 等

オンライン授業を受ける児童生徒の評価について

- ・これまでのオンライン授業と同様に、オンライン授業で取り組んだ内容については評価の観点に基づいた評価はいたしません。